

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義と役割を重視した理念を掲げ日々のケアに取り組んでいる。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、ホール等に明示しいつも念頭におき、日々の支援の中で共有に努めながらケアに活かしている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	町内会にも加入しており、ホームの説明も行っている。ご家族には入居当時理念を説明し理解してもらっている。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	朝、夕の挨拶はもちろんの事、機会あるときは地域の行事等などについて話している。花の手入れもして下さったり協力してもらっている。	○	挨拶から始まり声かけ会話に繋がるようにしている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会にも加入し、隣人、自治会長さん等とコミュニケーションをはかり地域の方々の歌や踊りのボランティア、保育園児さんとの交流も行い孤立しないように努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現時点では特に取り組んでいる事柄は無い。	○	今後何か出来る事はないか話し合いを行い検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的をスタッフ全員に伝え検討している。又外部評価の結果を考慮し日々努力している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的開催し事業所の報告を行い参加者の方より、意見、質問、要望を受け検討しサービスの向上に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者の方に「わかば便り」を届けたり運営やサービスについて直接相談に伺いサービスの質の向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修がある時は出席しその研修内容を職員全員で共有している。現時点では入居者の方の中では必要と思われる方はいらっしゃらない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法を皆で学び合い、虐待のないケアを実践している。実例や報道された虐待についてもスタッフで考え合っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
#VALUE!			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行い互いに充分理解される様話し合いを行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何時でも受け入れる体制はできており、意見等あった場合は職員で話し合いを行っている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	報告等は面会時及び支払い時にはきちんと説明を行い、わかば便りでも個々の現状、報告すべき事を書き記している。金銭管理に関しては出納張をつけ月初めには台帳と残金を合わせサインをもらっている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は面会時や行事来訪時には家族との話す機会をつくり、意見を聞いている。又意見箱も設置している。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティングを開催し、色々な問題に対し皆が納得いくまで話し合いを行い、運営向上に向け努力している。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	何時でも対応できる様職員の確保に努めている。又緊急時の連絡網もでき対応している。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむを得ない事情が生じた場合は離職を承諾しているが、長年勤務している職員も多く利用者へのダメージを防ぐ様している。異動は行っていない。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護に対する取り組み等の質・向上の為、勉強会や研修があれば積極的参加を促している。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員同士で、お互いの施設の見学や意見交換などをし、お互いの施設のサービスの質の向上を行っている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	現在は職員個々のストレスに対して様々であり、対処に苦慮しているが、個々の意見を尊重してなるべく負担のかからないように努力している。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフ個々の努力、実績、勤務状態を把握し、月1回のミーティングを開催し個々の意見を聞き討議しなるべくスタッフ皆が気持ち良く働けるよう努めている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談から、入居に至る過程で本人から相談を受ける事はないが、本人の話も聞くように努めている。(ご相談はご家族の方が殆どである)	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学時や入居申し込み時より色々な事柄を説明し又話し合いながら支援していく様努めている。又時々はお変わらないかなど問い合わせしている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	優先順位がどれであることを把握し支援する様に心がけている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があった時には、病院、ケアセンターに出向き、本人、家族、主治医、看護師より生活歴、現状等を聞き不安や、思いを十分に聞いて見学や、生活を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	互いに遠慮する事なく会話が行え昔ながらの料理や1人1人の出きる事などをして頂きながら生活している。	○	残存能力を生かした生活を維持できる様声かけ見守りを行っている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ありのままの報告を行い本人がいい方向に向くよう共に話し合い支えあっている。	○	ご家族との会話を増やし失礼のない発言や態度に心がけている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族との中立の立場に職員がおり互いの情報交換にも努め現在の状況がよりよい関係になるよう努めている。	○	イベントなどの行事には出来るだけ参加して頂けるよう支援している。季節事の衣替えも家族にして頂く様声かけしている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が会いたい人や自宅等への訪問も支援して入居者の方々に喜んでもらっている。	○	好天気の日などはドライブや散歩にいける様努め楽しみを増やすようしている。散髪は昔から行かれている場所をお願いし出かけている。(1名家族同伴)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	時にはトラブルもあるが職員が席の配置にも気を配りそれぞれの入居者の方々がうまく生活できる様努めている。	○	皆一緒になって出来る遊びやゲームなど考え行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	全利用者ではないが、退居後も利用者の方を訪問したりご家族へその後の状況を伺うなどしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のケアの中で本人から思いや意向が伝えられにくい場合が多いが、希望や意向を推察する様努めご家族の方々にも面会の時などご希望等はないかその都度聴取する様努めている。	○ ご家族の方々を遠慮されずにご希望等を言いやすい雰囲気作りを心がけたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでのサービス提供者から情報提供を受けたり、家族からの情報を基に生い立ち、趣味、嗜好などの把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の日常生活の流れをスタッフ全員が把握しており、変化があるときには申し送りを確実にする様に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族、主治医、スタッフ等の意見をとりいれ介護計画書を作成している。月1回はカンファレンスも行っている。	○ 聴取時だけではなく日常生活の中で何を希望されているかを把握出来るよう努めている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しをしている。状態変化に応じてモニタリングを行い、カンファレンス時に評価を行い見直しに活かしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の心身の状態を繊細に記録している。又必ず申し送りを確実にしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	24時間医療連携をとっている。又本人、ご家族の方々の状況に応じ出来ない事はスタッフが支援している。(病院受診や、買い物など)		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源は大いに活用している。(警察・交通安全の勉強)(消防・防災、災害等の訓練)(美術館・市立図書館の利用など)		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や日常生活をする上での必要性を見極め支援している。他事業所やケアマネージャと連携した介護保険制度上のサービス提供や支援活動は行っていない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	連絡を取り合い、入居者の方々のケアの向上の為に協働している。地域包括支援センター主催の研修にも参加して他の施設の方々の意見等も聞き勉強している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居当時かかりつけ医をどこにされるか、ご家族等と相談し希望されるかかりつけ医を決め適切な医療が受けられるように支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	主治医、看護師、協力病院等の協力を得られるようにしている。又必要時には認知症専門医へ受診し相談、助言をいただいている。	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	協力医療機関の看護職員と相談を適宜行い支援を受けている。	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	協力医療機関を確保しており、情報交換や相談は常に出来るよう体制ができている。介護職員も常時どのような状況か看に行っている。	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居時、重度化や終末期に向けての説明を行い方針を定め、主治医も家族の意向を把握され最善の対応ができる様取り組んでいる。	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	ご家族の希望があれば終末期までの支援を行う準備はあるが、まだ入居者の方で終末期まで生活された方はいらっしゃらない。	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	他の施設等に転居される場合は情報提供書を添付し、出来る限り付き添い、口頭でも説明を行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対しては個人情報に関する誓約書もあり、入居者の方々の生き方、生活のあり方など個人の情報を把握し、プライバシーを損ねない様気配りし優しい態度で接している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	意思決定や希望を表したりできる様声かけを欠かさない様にし意思表示が出来ない人にも色々な方法で支援している。(筆談・空書・ジュスチャーなど)	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の大まかなスケジュールはあるが入居者の希望を大切にし個人の趣味など好きな事が沢山できる様支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望の理美容院があればスタッフや御家族が付き添い外出している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に応じ手伝いをお願いし昔の話を聞いたりし会話を楽しんでいる。食事は季節感をだす工夫をし食器も昔馴染みの物を使用している。(誕生日や祝い膳なども心掛けています)	○ 入居者の方々の嗜好や、栄養指導を受けている方の一覧表を作り対応している。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	皆さん同じ所でお茶を飲まれる為日替わりで紅茶や、抹茶などと変えたりし又手作りの物を中心にお茶菓子は出す様にしている。(自室では、ご家族と飲食されたりしている)	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握しトイレへの排泄を支援しオムツ使用の削減に努めている。	○	食後や水分補給後の排泄の声かけを徹底していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全員が介助を必要としているが、入浴日は決められていない。入居者の希望に応じられるよう努めている。	○	排便の失敗がある時は日に何回でも入浴や、シャワー浴を行い清潔に努めている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の睡眠パターンを把握し心身を休められ、リラックスできる様空間作りを行っている。	○	昼寝や、夜間に安眠出来る様採光や温度調整にも気をつけてる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴の把握に努め残存能力を生かしながら日常生活の手伝いをしてもらい、体操、レクリエーションなどの支援をしている。	○	達成感を感じられるような生活支援をして行きたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々のレベルを考慮し力量に応じお金を持たれ買い物に同伴したり、おつりの計算などをしてもらっている。	○	個々のレベルに合わせて買い物に行きたい時に出来るだけ要望に答えられるようにしたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物やドライブ、散歩など希望時は外へ出かけられるよう支援しスタッフからも声かけしている。	○	本人の希望がある時はできる限りの支援ができる様スタッフがその都度努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>声かけしてスーパーに買い物に出かけている。散髪、遠足、祭りなど多数のご家族が参加して下さっている。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>手紙が届いた時に返事を書く時間を設けている。小包等が届いた時は電話を取次ぎしている。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	○	<p>自室で個々に会話される時はお茶を出しゆっくり会話してもらおう。ホール等で皆さんと会話される時は近況等話したり和気あいあいにする。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>ミーティング、文書等で身体拘束禁止は理解し取り組み実践している。</p> <p>文書・事例集で理解取り組みしている。</p>
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>鍵をかけない事の重要性を理解し、入居者のプライバシーは見守りながらケアしているが、玄関のセンサーが鳴る用にしている。(事故を未然に防ぐ為)</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>常に見守りが出来る場所で勤務しているが、夜勤帯で他者の介助中、目が行き届かず安全に欠けているところがある。</p> <p>難しい問題であるが優先順位を瞬時に判断し安全を確保していきたい。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>保管場所、管理方法を取り決め、在庫の確認管理も行っている。</p> <p>保管場所の戸締りの徹底と在庫の把握</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○	見守りを徹底すると共に障害物を事前に取り除くようにする。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○	地域の方々に協力を得られるよう努力をする。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	○	職員も過敏になりすぎず、柔軟な態度で見ていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○	職員同士の申し送りに漏れのない様に努めている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○	服薬時には必ず確認し間違いの無い様に気を付けている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○	排便の状態を毎日チェックして個々の排便の状況に合わせて水分摂取、腹部のマッサージを行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ずうがい、義歯洗浄を行い夜間は入れ歯洗浄剤につけて清潔を保てるようにしている。必要な方は歯科受診も行って	○	自立出来るよう見守り、個々が口腔ケアの大切さを理解できるように介助している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	協力病院の栄養士さんに助言をいただきながら栄養バランスにも充分配慮しながら1日1200Kカロリー～1500Kカロリー、水分は1000～1500CCを目安にしている。身体状況に合わせて、ミキサー食、とろみ食も取り組んでいる。	○	水分摂取の少ない方には特に気を配り水分摂取を促している。体調の悪い方には食事の形態や味付けを工夫している。季節の食材も数多く取り入れ献立がマンネリにならない様気を付けている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し予防にも取り組んでいる。	○	入居者、職員共々日常の手洗いうがい等に努めている。身体や衣類の清潔を保ち、換気にも気を付けている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前は必ず手洗いし取り掛かっている。まな板、布巾も毎日消毒しチェックしている。魚は生物を使い野菜なども新鮮な食材を仕入れるよう注意している。	○	賞味期限をチェックし、期限内に使い切るよう注意している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花々を植え優しい玄関作りをし又スロープにて行き来できる様工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の手作りの飾りを作り季節感を感じれる様配慮し、テレビの音量や採光にもロールカーテンなどを使用し生活していただいている。	○	季節の花々もテーブルなどに飾り明るい雰囲気を出せるよう工夫し童謡や昔の歌など流し楽しい雰囲気を作れるよう努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○	ご家族のご理解を得られるよう声かけをし、本人使用だった整理箆笥等家族に承諾、協力して持って来てもらっている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	○	手すり、ベッド柵で安全自立支援を行っている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	○	自室前にも名前を明記している。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	○	リビングよりベランダの花や小鳥が集まる様果物を乗せる台を設置している。又コンテナガーデンで野菜の生育を楽しみながら採取している。外庭を活かし季節の野菜作りをしていきたい。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）